

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部法律経済学科
学年(出発時)	3年生
大学名	ノースカロライナ大学ウィルミントン校
国	アメリカ
留学期間	2023年8月～2024年5月 2学期間(9カ月)
派遣先での身分	国際交換留学生(International exchange student)

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	朝食
10:00	図書館で課題
11:00	授業
12:00	学食で昼食
13:00	授業
14:00	授業
15:00	授業
16:00	授業
17:00	図書館で課題
18:00	夕食
19:00	友人と過ごす
20:00	
21:00	
22:00	帰宅
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Two-Dimensional design	3時間40分	3	英語	プロジェクト、評論会
Introduction To Graphic Design	3時間40分	3	英語	プロジェクト、評論会
Introduction To Linguistics	2時間30分	3	英語	レクチャー、プロジェクト、オンライン試験
Introductory Spanish	1時間40分	3	英語	レクチャー、試験
Modern Japanese Culture	2時間30分	3	英語	参加型授業、毎週の課題、プレゼン
General Psychology	1時間40分	3	英語	レクチャー、試験
American Music	2時間30分	3	英語	レクチャー、試験
English as a Second Language	2時間30分	3	英語	参加型授業、毎週の課題、プレゼン

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	買い出しのための車出し。ハロウィンの実家にお邪魔させていただいた。
語学コースの有無	無
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	on-campus dorm
住居の名前	Seahawk Crossing
部屋タイプ	四人部屋(個室部屋あり、シャワー、リビング等はシェア)
ルームメイト(国籍)	アメリカ国籍、ドイツ国籍、エジプト国籍
室内設備	ベッド、机、椅子、ダンス、クローゼット
共用施設	キッチン、バスルーム、トイレ、リビングルーム
インターネット設備	学内で使用できるWIFIあり
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	寮が学内にあるので徒歩で15分程度
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	J1ビザ
Visa申請先	大阪
Visa取得にかかった日数	約一カ月
Visa取得にかかった費用	約2万円
Visa取得方法、提出書類等	留学先の大学からDS2019が送られてきたら、DS2019の他、SEVIS、残高証明書、面接予約確認書、DS160などの必要書類を準備し、領事館でVISAの面接を受ける。面接後VISA付パスポートが受け取れるが、時間がかかるので時間に余裕をもって用意する必要がある。
留学先大学の最寄り空港までの経路	車で15分
渡航費用	約30万円
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	就職活動に遅れが出たため
就職活動開始時期	2024年5月(帰国後)
帰国後の進路	卒業論文と就職活動

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ドル＝150～160円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約20万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	約5万円
宿舍費(月額)	約1000ドル
光熱費(月額)	宿舍費に含まれる
食費(月額)	270ドル(加入するプランによる)
その他	外食費、旅行費
留学期間中にかかった費用の合計	約200万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

私はノースカロライナ大学ウィルミントン校に2学期間交換留学をしていました。三重大学での専攻はマーケティングですが、三重大学で必要単位をほとんど取り終えてからの留学だったため、留学先では自分のこれまで履修してきた講義とは異なる分野の講義を受講しました。自分の専攻以外の講義を第二言語である英語で受講することは、専門用語の意味を理解するところからのスタートで大変でしたがその分学べることも多く、留学前に比べて確実に視野が広がったと感じます。また、講義以外の面でもとても充実した留学生活を送ることができ、勉学以外の面でも視野を広げることが出来ました。

英語力の向上についてですが、1学期目は比較的簡単な講義(あまり専門的ではない、または自分が詳しい分野に関する講義)を受講していたため、わからない語彙が出てくることは少なく内容を理解することはそこまで大変ではありませんでしたが、授業中のディスカッションの時間に苦労しました。先生は丁寧な英語ではきはきと話してくれますが、生徒の話す英語はスピードが速く、砕けた表現を使い、また先生のようにきはきと話すわけではないのでネイティブの会話を聞き取るだけで精一杯で、その上で自分の意見を言うのには苦労しました。私の英語力では数カ月の留学でディスカッションを積極的に参加できるようになるのは難しいと感じたので、先に意見を言い、そこから話を広げてもらうのがいいと考えその作戦で乗り切りました。2学期目は自分の専門外の講義を多く履修したため、専門用語の理解に多くの時間を費やしましたが、英語面でも学習面でも大きく成長することが出来ました。

講義以外の面では、日本語の授業のボランティア中に出会ったアメリカ人、同じ授業を履修しているクラスメート、韓国やエクアドル、ドイツなど様々な国から来た交換留学生や、日本からの交換留学生、アメリカ人のメンター、フレンドシップファミリーと過ごすことが多かったです。留学に来て最初の頃は同じ交換留学生仲間とほとんどの時間を過ごしていました。様々な国の文化を知ることが出来ることはとても楽しかったです。また、英語が第二言語である留学生や日本語で話せる留学生と話すのは居心地もよかったです。しかし同時にアメリカに来てアメリカ出身の友達がいらないことに焦ることもありました。しかしUNCWでは幸いなことに日本語の授業が開講されていたり、メンター制度があったおかげで、徐々に現地出身の友達も作ることが出来ました。サンクスギビングデーや誕生日などイベントの日には友達の実家に招待してもらいアメリカの文化に触れることが出来ました。そして何より留学が終わる頃にはまた絶対にアメリカに戻ってきたいと感じるほど留学を通して深い絆や思い出ができて本当に素晴らしい留学生活を送ることが出来ました。交換留学生の友達も同じ状況で悩みを共有し、共に頑張った戦友として留学後も連絡を取り合っています。

留学を通して、留学前には想像もしてなかったほどのたくさんのことが得られました。それは勉学や語学力の向上にとどまらず、アメリカはもちろん他国の歴史や社会問題、文化の違いなど本当に幅広くいろんなことを学ぶことが出来ました。留学前はコロナの蔓延や就職活動時期への影響などで行くかどうか悩んだ時期もありました。しかし今考えるとこの留学生活は人生の糧になる貴重な時間になったと強く感じます。

今後留学する人へのアドバイス

留学中一番大切なのは英語でコミュニケーションが取れることだと感じたので、留学前はとにかくスピーキング力とリスニング力を上げることが大切だと思います。私は留学当初スピーキングに苦労しました。初めは自分が主導権を握って積極的に話すことはハードルが高く、また相手が言っていることは分かってもどういった相槌を打ってよいか分からないという状況で、会話を楽しめないと精神的に大変でした。スピーキングがあまりできなかった背景には単語力の欠如の他に、この英語で間違えていたらどうしようという不安や英語であまり人と会話したことのないという不慣れさなどの自信のなさが原因だったと感じます。こういった点は留学を通して慣れていくことかもしれませんが、留学前の準備でカバーできるものはしておく方が良いと思います。

勉強方法としては、英語試験対策のような勉強方法ではあまり留学での実践的なコミュニケーションの場においては役立つ機会が少ないと思います。その代わりに英語ネイティブの人の会話をYouTubeやPodcast等を通して聴き、実際の生の英語に耳を英語にならすことが留学先で役立つと思います。また、スピーキングについては三重大学に留学に来ている留学生やオンライン英会話を通して英語を話すことや、お金をかけなくても独り言を英語で言うだけでも効果はあると思います。

しかし留学に行ってから一番大切になってくるのは、英語力よりも気持ちだと感じます。私自身、初めは周りの留学生の英語力と比較して英語を話すことに対してのハードルを上げたり、アメリカ人を前に下手な英語ではないだろうかと英語を話すことに抵抗があったりしました。しかし話してみるとみんな優しく、下手な英語であっても意味を理解しようとしてくれました。また、一度勇気を出して話してみると思っていたよりスムーズに話をする事が出来ることもありました。そのため留学中は精神力と積極性が一番大切だと感じます。これから留学に行く方は、なんでも積極的に挑戦して留学中はその地でしかできないことをたくさん経験してほしいと思います。

報告書記入日

2024年5月21日